



# 第 127 回院内コンサート

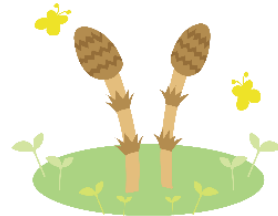
日時 : 2026 年 5 月 16 日 (土) 14 時~

場所 : 亀田病院 新館待合ホール

♪ ♪♪ 演奏者プロフィール

うめはら まきこ

ヴァイオリン : 梅原 真希子さん



桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学、ジュリアード音楽院を卒業。山本幾子、久保田良作、川崎雅夫、D.ディレイの各氏に師事。ソロ、アンサンブル奏者として、バロックから現代音楽での演奏活動は多岐にわたる。1995 年 N.Y.日系人コンクール優勝、Dr.Shinya 音楽賞受賞。2010 年第 10 回佐治敬三音楽賞受賞及び 2015 年第 84 回日本音楽コンクール作曲部門の演奏に対し委員会特別賞受賞(東京シンフォニエッタ)。2014~2024 年ピアニスト鈴木慎崇氏とのデュオリサイタル「ベートーヴェンと・・・」(全 10 回)が好評を博す。現在、カントウス・クアルテット、東京シンフォニエッタメンバー、一般社団法人横浜音楽文化協会会員、Reash4 スタンス理論マスター級トレーナー。

すずき よしたか

ピアノ : 鈴木 慎崇さん



札幌市出身。東京藝術大学音楽学部卒業。全日本学生音楽コンクール、日本音楽コンクールにて、それぞれ第 1 位。ソリストとしてさまざまなオーケストラと共演。室内楽の分野においてリサイタル、FM、CD、配信などで数多くの演奏家と共演。国内外の音楽祭、コンクールなどで公式伴奏者をつとめ、高い評価と信頼を得ている。読響、N 響の定期演奏会にてストラヴィンスキー作曲「ペトルーシュカ」のピアノを担当し、好評を博す。アンサンブルピアニストとしての活動は多岐に渡り、東京混声合唱団とも数多く共演している。武蔵野音楽大学、東京藝術大学非常勤講師を務めたのち、現在洗足学園音楽大学非常勤講師として、後進の指導にあたっている。



# プログラム

♪ドビュッシー作曲

ヴァイオリンソナタ

- 1.アレグロ・ヴィーヴォ
- 2.間奏曲
- 3.フィナーレ

フランス音楽を代表する作曲家、クロード・ドビュッシー。  
三つの楽章から成るこのソナタは、第一次世界大戦のさなか、病と闘いながら 1916  
年から 1917 年にかけて完成されました。そして、初演では作曲者自身がピアノを演奏  
しました。

音によって描かれる光や色彩がやさしく広がっていきます。

♪シューベルト作曲

ヴァイオリンとピアノの

ための幻想曲 D934

フランツ・シューベルトは、31 年の生涯の中で 600 曲以上の歌曲を残しました。歌詞  
のないこの作品にも、歌うような旋律の美しさがあふれています。  
たゆたうように移ろう和声に導かれながら、音楽はひとつの物語のように連なり、心の  
奥に静かに広がる幻想の世界へと誘います。

お願い：許可のない動画・写真の撮影はご遠慮ください。

なお、感染症拡大の際にはコンサートが中止となる場合もございます。

次回、第 128 回院内コンサートは 2026 年 6 月 20 日（土）14 時 00 分～

